吉崎市地域防災計画（令和6年9月修正案）に対するパブリックコメントでの
ご意見に対する吉崎市防災会議の考え方

番号	項目	ページ	意見の内容（原文まま）	吉崎市防災会議の考え方
1	第2編 風水害対策 編 第2章 災害応急対策計画 第1節 応急活動体制の確立	75～76	（3）動員系統の図ア・イどちらともFAX等で気象地震情報や災害関連情報を提供するように表示されているが、実際の災害時にはFAXが機能しない場合、どのような手段を想定されているのでしょうか。	このFAXについては、長崎県が整備している防災行政無線によるFAXを意味しており、通常の電話回線等によるFAXとは異なります。そのため、電話線の切断による不通は生じません。また、このFAXのプリンターを設置している場所については、非常用電源が整備されており、停電による不通も生じないことを想定しております。仮にこの情報伝達手段が機能しなくなり、この方法により情報が得られなくなった場合は、衛星通信やインターネット通信などを状況によって活用し、情報を取得する想定としております。
2	6 避難関係資料 6-1 指定緊急避難場所・指定避難所	332～336	・避難所の最大収容人数、準備されている備品・設備（毛布、簡易クーラー、扇風機、暖房、食料、電源など）も、できる限り掲載すべきではないか。市民の不安解消につながる。 ・近年の災害では、停電によりエアコンが使用できずに避難を余儀なくされるケースが多くなりつつある。指定避難所などでの「自家発電設備」の有無についても掲載してはどうか。	避難所に関する情報については、数量の増減や状況の変化等が頻繁にありますので、地域防災計画には記載しておりません。必要な情報につきましては、市ホームページへの掲載等により周知してまいります。
3	6 避難関係資料 6-1 指定緊急避難場所・指定避難所	332～336	*学校教育施設については、体育館を主な避難所とする。と掲載されていますので指定避難所の13小・中学校体育館と、石田スポーツセンター武道場等の空調施設整備を早急にされた方がいいと思います。	夏季における避難所では、熱中症発症のリスクが高くなることが予想され、体育館をはじめとする避難所施設の環境整備も必要であることは認識しております。しかしながら、体育館等の広い空間に空調設備を整備する場合、導入費用（イニシャルコスト）に加え、運用費用（ランニングコスト）についても多額となり、将来的に大きな財政負担となることが懸念されます。そのため、優先順位の検討など、施設の所管課及び財政部局とも協議しながら、計画的な整備に努めてまいります。

吉崎市地域防災計画（令和6年9月修正案）に対するパブリックコメントでの
ご意見に対する吉崎市防災会議の考え方

番号	項目	ページ	意見の内容（原文まま）	吉崎市防災会議の考え方
4	6 避難関係資料 6-2 福祉避難所	337	福祉避難所 4カ所について バリアフリー避難所としての整備や 個別避難計画書作成追加された避難 行動要支援者向けの避難訓練やシユ ミレーションの必要性を記載して頂 きたいです。	現在、福祉避難所として指定して いる施設については、平時には社 会福祉施設として利用されていま す。社会福祉施設の防災訓練等 につきましては、「第2編 第1章 第15節 避難行動要支援者の安全 確保」の「2 社会福祉施設、病院 等における要配慮者対策」（本編 59～60ページ）に記載してお ります。 また、個別避難計画の策定や避難 行動要支援者を含めた防災訓練に 関しましては、同節「1 地域にお ける避難行動要支援者の支援体制 づくり」（本編 56～59ペー ジ）に記載しております。
5	-	-	吉崎市自治基本条例第18条第2項 に基づく、会議の「公開」の拡充を お願いします。令和6年度におい て、市民の傍聴機会を確保するた めに防災会議の案内をホームページ に掲載していただいておりますが、 あわせて、会議の議事録について の公開をお願いします。政策企画課 さんの「総合計画」に関する議事録 の公開状況や、他の自治体の防災 計画の会議の公開状況を参考にし て、計画の見直しから改訂の過程 を市民が理解できるようにお力添 えのほどよろしくお願いいたしま す。 （例えば立川市 https://www.city.tachikawa.lg.jp/shisei/sanka/1006064/1006093/1006420/1006425/1006431.html ）	防災会議の議事録について、ホ ムページにて公開します。

壱岐市地域防災計画（令和6年9月修正案）に対するパブリックコメントでの
ご意見に対する壱岐市防災会議の考え方

番号	項目	ページ	意見の内容（原文まま）	壱岐市防災会議の考え方
6	-	-	壱岐市自治基本条例第18条第1項に基づく、防災会議への公募委員の増員等をご検討ください。防災に関する「素人」が参画することで、自分たちの計画であると自覚し、自らも防災の役を担うことを認識する機会になることが期待されます。また、「素人でもわかる防災計画」へのステップアップが期待されます。	ご意見として承ります。 なお、壱岐市防災会議の委員については壱岐市防災会議条例に基づき、任命していることを申し添えます。 また、壱岐市防災会議条例の第4条には専門委員について任命することができるとなっております。必要に応じて、専門的な知識を持った方を専門委員として任命し、調査していただくことで、専門的な意見等について反映することができると考えております。
	-	-	委員の中に「医師会」「看護師の団体」「自治公民館の中から1名程度」「まちづくり協議会の中から1名程度」「壱岐市社会福祉協議会から1名程度（事務局長または災害ボランティアセンター担当者および災害弱者の支援者）」などを追加されることをご検討ください。壱岐市民生児童委員協議会連合会女性代表が担っている「福祉的ニーズを必要とする方向への防災や避難の支援」に関する専門的な知識の裾野が弱いように思います。有事に医療・看護・介護のサービスをどれだけ維持できるかという視点で、参画を期待します。	
	-	-	部長級の市職員の方々が多数参画していただいています。これはこれで防災に関する壱岐市さまの強い覚悟と意思を示すものとして高く評価させていただくところですが、「働き方改革」の一環で、計画のPDCAに対する会議体に対し、いささか必要以上に市職員が入りすぎなのではないかと思えます。企画振興部長さんや議会事務局長さんあたりは委員から外れられてもいいのではないのでしょうか。その空いた分を、上記意見の委員に充当していただければ幸いです。	
-	-	-	・防災会議については壱岐市防災会議条例によって定義・設置されていると考えます。防災における女性参画に関する修正について、女性リーダーの育成、避難所運営等への女性参画についての追加だけでなく、防災会議における女性委員の追加や公募委員の追加を検討して頂きたいです。 また、専門職として医師や看護師、自治公民館やまちづくり協議会、福祉関係者等も委員として追加された方が、多様なステークホルダーが連携し、防災会議で議論して頂き、市民にとってより身近な声を取り入れて頂きたいです。	

※上記の他、誤字等のご指摘については、壱岐市防災会議事務局にて修正しております。ご了承ください。